

2017年10月4日

千葉県 落花生における「ネバリン」施用試験報告書

日本肥糧株式会社

①目的

落花生に対する「ネバリン」の施用効果の検討。

②試験概要

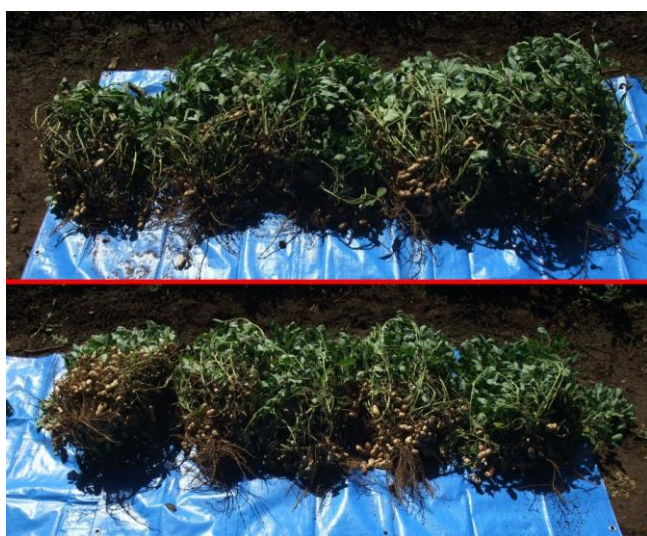
- 調査日：2017年9月29日（天候：晴）
- 設置圃場：千葉県 JA 千葉みらい管内
- 作物：落花生…圃場① おおまさり
圃場② ナカテユタカ ※同一生産者圃場で2品種設置した。
- 施肥設計：3-10-10 60kg/10a
ネバリン 200kg/10a（試験区のみ）
- 施肥日：5月上旬 定植日：5月20日（マルチなし）
- 調査方法：1区当たり5株を、根を切らないように掘り取り、以下の測定を行った。
 - ・総重量…土を払ってから地上部と地下部の合計重を計測した。
 - ・総莢重量…総重量測定後、莢が未熟で小さい物を除いた莢の総重量を測定した。
 - ・規格別莢重量、莢個数…総莢重量測定後に莢を指で押して確認しながら、空粒、腐敗粒、着色粒等の不可販粒を除外し、粒の大きさに「2粒」、「1粒」・「大」、「小」に区別した。規格毎の個数をカウントし、重量を測定した。
- 展示圃指導：JA 千葉みらい指導経済部 農業技術顧問 K様

③試験結果

		圃場①(おおまさり)		圃場②(ナカテユタカ)	
		試験区	慣行区	試験区	慣行区
5株総重量(kg)		11.01	10.36	3.25	2.97
5株総莢重量(kg)		3.99	3.99	1.05	0.87
規格別 莢個数 (5株)	2粒大	403	346	151	111
	2粒小	27	20	12	2
	1粒大	64	57	48	17
	1粒小	54	8	3	5
5株規格別莢個数合計		548	431	214	135

		圃場①(おおまさり)		圃場②(ナカテユタカ)	
		試験区	慣行区	試験区	慣行区
規格別 莢重量 (kg) (5株)	2粒大	3.07	2.68	0.67	0.40
	2粒小	0.09	0.07	0.03	0.01
	1粒大	0.32	0.28	0.11	0.04
	1粒小	0.13	0.02	0.01	0.01
5株規格別莢重量(kg)		3.61	3.05	0.82	0.46

写真①おおまさり比較 上：試験区、下：慣行区



写真②ナカテユタカ比較 上：試験区、下：慣行区



写真③おおまさり莢規格別 左：試験区 右：慣行区



写真④ナカテユタカ莢規格別 左：試験区 右：慣行区



- ・おおまさり、ナカテユタカの両方の品種共に5株総重量、5株規格別莢個数、5株規格別莢重量全てで試験区が良い結果となっていた。
- ・おおまさりの5株莢重量では試験区、慣行区で同じ重量となっているが、選別後の規格別重量では試験区が重い結果となっている。
- ・生産者からの聞き取りでは、試験区側の圃場は従来より生育が悪い圃場という事であった。実際の様子を見ると、試験区圃場では土が硬く、透水性も悪かった。また、前日の60mm程度の降雨の影響で試験区側ではぬかるみがあり、莢が地上に剥き出しになっていた株もあった。対して、慣行区は砂がやや多く、土が非常に柔らかかった。こちらにはぬかるみが残っていなかったことから、透水性も良好だと思われる。

④まとめ

ネバリンの施用によって、土壌中の微量元素などを十分に吸収できたために落花生の生育が良くなり、莢の重量・品質が良くなったと考えられる。また、本試験でネバリンを施用した試験区では土壌条件が悪かったものの、ネバリン施用によって健全な生育が行われたことで収量が確保できたものと考えられる。

以上